



## ポップカルチャーから盆踊りまで 日本文化アワー

日本人入居者（総勢40人）有志により実現した。

日本全国の観光スポット、食文化、ポップカルチャーなどのビデオ紹介を始め、Teachers College & Taiko Society による和太鼓やNY沖縄県人会による三味線演奏などを約300人が楽しんだ。ジャパニーズ・フォークダンス・フォーケタ

シス・インスティテュートの講師、青木三幸氏の音頭で、会場全員による「炭坑節」円舞が最後を飾った。

大好評の日本料理は日本人ボランティアグループNY・デ・ボランティアと寮生手作りの焼きそばやあんこ餅のほか、企業やレストラン提供の巻寿司や日本酒など。

同ハウスのハーマン・ロツテンバーグ理事（写真右）は、「今回は充実した内容で特に盛り上がった」と語っていた。

世界各国からの留学生とインターンに生活の場と共助的コミュニティを提供し、異文化への寛容と相互の友情を育むことを目的として1924年にロックフェラー2世によって設立されたインターナショナルハウスが11月22日、「日本文化アワー」を開催した。「カルチュラルアワー」は100か国以上約7000人の寮生が、毎月順番にそれぞれの文化を紹介する夕べで、「日本」は97年以來の開催。